

## 令和4年度 第1回三島市障害者施策推進協議会 会議録

- 1 開催日時  
令和4年9月1日（木）午後2時から午後3時20分まで
- 2 開催場所  
三島市役所本館 3階 第1会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 20人（22人中）  
中村正蔵会長、秋山裕子委員、小川恭弘委員、山口晶久委員、三宅秀樹委員、橋本せつ子委員、澤野まり子委員、新井早苗委員、高田康子委員、仲地成子委員、戸津策太郎委員、土屋令子委員、上田豊子委員、木口典久委員、皆川尚之委員、新美一郎委員、山本昌範委員、早田公子委員、碓井宏政委員、鈴木俊昭委員  
（欠席 松村隆文副会長、内田新一委員）
  - (2) 事務局 5人  
（障がい福祉課）池田課長、津田課長補佐、鈴木課長補佐、木村主幹、青木精神保健福祉士
- 4 会議の公開・非公開 公開
- 5 傍聴人の人数 0人

### 【会議録要旨】

- 1 委嘱状交付  
新任委員に対し市長から委嘱状を交付
- 2 市長挨拶
- 3 三島市障害者施策推進協議会中村会長挨拶
- 4 委員自己紹介
- 5 議事  
— これより会長による議事進行—
  - (1) 令和3年度三島市障害者施策推進事業実績について  
資料1に基づき事務局から説明があった後、次のような意見交換及び質疑応答がされた。

委員：日常生活用具の支給について、三島市ではイヤーマフが支給対象となっていない。聴覚過敏でイヤーマフを必要としている特別支援学校の児童、

生徒がおり、学校の備品を貸し出しているが、長期に貸し出すのは難しい。イヤーマフを支給対象としてほしい。

委員：イヤーマフについては私たち団体からも要望しているが、市に要望すると県の基準に基づいているといわれ、県に要望すると市が決めることと言われる。検討してほしい。

事務局：日常生活用具は静岡県のガイドラインに基づいて支給している。イヤーマフは作業現場や射撃の際に使用されており障がいに特化した製品ではなく、静岡県のガイドラインに入っていない。イヤーマフを日常生活用具の支給対象とするかについては今後の研究課題としたい。

## (2) 令和4年度三島市障害者施策推進事業計画・経過について

資料2に基づき事務局から説明があった後、次のような意見交換及び質疑応答がされた。

委員：相談支援事業の機能強化のうち、基幹相談支援センターの将来的な民間主体の共同運営化への準備となっているが、現在、主任相談支援専門員は市職員が担っている。民間で主任相談支援専門員を雇用することは難しい。

事務局：これらについては、今後実施していきたいものを挙げている。これから検討していく予定。

委員：成年後見について、親に認知機能の問題が生じ、障がい者とダブルで後見となるようなケースも増え、アウトリーチが必要となっている。社会福祉協議会で成年後見を行っているので、連携を具体化し、市民に提示できればと考えている。

事務局：成年後見の市長申立は少ないように見えるが、社会福祉協議会とコーディネート委員会を開催し、多くのケースを協議している。市長申立にするか、このケースは社会福祉協議会が担っていくかというような協議を行っている。

委員：入所者の入所期間が長期化し、親が死亡、行方不明という入所者も増えてきている。成年後見としたいケースをコーディネート委員会にまとめてあげると大量になってしまうので、1人ずつあげていきたい。

## (3) 第5期三島市障害者計画、第7期三島市障害福祉計画、第3期三島市障害児福祉計画の策定に伴うアンケート調査について

資料3に基づき事務局（青木精神福祉士）から説明があった後、次のような意見交換及び質疑応答がされた。

委員：アンケートの対象として障がい福祉サービスを行う事業所を入れて

ほしい。

事務局：今年度については障がいがある人を予定しており、事業所への意向調査については来年度を考えている。

委員：私どもの事業所は延べ80人の障がい者が利用しており、8050問題や、お母さんと障がい者だけという世帯も多くなっている。アンケートに同居している人の支援、例えば、買い物をしている、通院に同行しているなどをきくような設問を入れてほしい。

また、設問16、設問17は似通っているので一つにまとめたらどうか。

相談支援で情報をどこから得ているかという部分で、インターネットに接続している携帯電話を持っているかをきいてほしい。利用者にインターネットによるトラブルが起こっており、60万円借金を作ってしまったケースがある。私どもの事業所では災害時等に一斉メール送信を行っており、情報伝達手段としてインターネットに接続した携帯電話は重要であるし、トラブルの原因にもなるので、保有状況がわかることで施策が明確になると思う。

事務局：検討課題とさせていただきます。

委員：アンケート内容が子ども向けの部分が少ない。子ども向けに別のアンケートをできないか。

委員：設問が多くなると回答率が下がるので、アンケート対象を増やせるか。

事務局：委託契約の中でアンケート件数を決めてあるので、子ども向けに別のアンケートを行うことや、対象を増やすのは難しいことを御理解いただきたい。

#### (4) その他

会長：三島市社会福祉協議会に三島市成年後見支援センターを設置しており相談件数が飛躍的に伸びている。県内でも先進的なセンターであるので、ぜひ利用してほしい。

#### — 事務連絡 —

次回会議について連絡

## 6 閉会